

BI 製品比較マトリックス

機能	Business Objects XI R2	Cognos Series 8	Microsoft Reporting Services 2005	Pentaho - 3.0
レポート				
概要	Business Objects XIには、Xがある総合的なウェブベースのレポート作成ツールの導入を含め強力なレポート作成環境があります。またレガシーなクライアントインストール型のレポートツールもあります。ウェブ、ウィンドウズクライアントツールを通して、Webレポート、クリスタルレポートを経由することで、洗練されたレポート作成が提供されます。	Cognos8には、Javaを使用して完全にカスタマイズ可能なインタフェースを含む、強力なレポート作成環境があります。Cognos8作成ツールは、レポートスタジオ、メトリックスタジオ、アナリシススタジオ、およびクエリースタジオとして知られているアドホックレポートを含め、ウェブベースの環境です。	SQLサーバーレポートサービスはレポート作成、マネジメント、従来の紙ベースのレポートとインタラクティブなウェブベースのレポートの両方を提供可能にするサーバーベースのソリューションです。	Pentahoには、レポート作成のための2つのツールがあります。ひとつはSQLベースのクエリーを作成するのに十分な柔軟性を持ち合わせているJavaクライアントベースの作成ツールです。もう一方はウィザードベースのツールで、アドホックレポートなどに使用されます。いくつかのユーザビリティが改良されています(たとえばテーブルからフィールドをドラッグ・アンド・ドロップする機能)。
レポート作成	Yes	Yes	Yes	Yes
ブラウザベースのレポート作成	Yes	Yes	No	Yes
レポート管理	Yes	No	Yes	Yes
レポートセキュリティ	Yes	Yes	Yes	Yes
アドホックレポート	Yes	Yes	Yes	Yes
セマンティックレイヤー統合	Yes	Yes	No	Yes
多言語対応	Yes	Yes	Yes	Yes
レポートスケジューリング	Yes	Yes	Yes	Yes
Eメールレポート	Yes	Yes	Yes	Yes
メタデータ管理 / セマンティックレイヤー				
概要	BOの領域はかなり発達して、プラットフォームのあらゆるレイヤに統合されています。ダッシュボードの作成と領域の統合による制限がいくつかあります。	フレームワークマネージャはCognos8プラットフォームを統合します。ディメンショナルモデリングができます。グローバルフィルタ、プロンプトなどの挿入は、Cognos8の前身ReportNetからのパブリックドメインです。	初期状態ではセマンティックレイヤーは利用できません。	Pentaho MetadataエディタはCWM(Common Warehouse Model)をサポートします。定義したセマンティックレイヤーはレポートやOLAPで利用可能です。
セマンティックレイヤー	Yes	Yes	No	Yes
レポートとセマンティックレイヤーの統合	Yes	Yes	No	Yes
データディクショナリとの統合	Yes	No	No	Yes
レポート作成統合	Yes	Yes	Yes	Yes
ダッシュボード作成統合	Yes	Yes	No	Yes
ダッシュボード				
概要	BOには、エンドユーザーによる作成ツールなどのBO環境に統合された強力なダッシュボード作成インタフェースがあります。ダッシュボード、メトリクス管理ツールセットと、レポート作成管理ツールセットの間には、いくつかの問題が残されています(例えば、別々のリポジトリが必要)、ここでのインテグレーションのレベルは高く、利用できるKPI、ゲージは洗練されたものです。しかしマッピングの能力はCORDAほど強力ではありません。	Cognos8のダッシュボードはレポートスタジオの一部です。レポートスタジオはそれらのダッシュボードのためにゲージスタイルをインプリメントします。ダッシュボード機能用に改めて何か他に購入、インストールする必要は全くありません。ダッシュボードの外観はゲージと呼ばれるスタイルに限られています。レポートスタジオがもう一つのレポートとしてダッシュボードを扱うため、ゲージから詳細報告までドリルすることができます。	SQLサーバーレポートサービスは厳密にはダッシュボードの作成を意図したものではありません。しかし柔軟性があるため、それらをダッシュボードデザイナーとして使うことができます。ツールセット(ゲージ、マップなど)をカスタムレポートコントロールに追加できます。	Pentahoは様々なゲージ、KPI、およびチャートでダッシュボードを作成できる総合ポータルのようになっています。柔軟なプラットフォームが提供されていますが、よりユーザーフレンドリーなダッシュボード作成のインタフェースとするためにプラットフォームを拡張することができます。
ダッシュボードとレポートの統合	Yes	Yes	Yes	Yes
ポータル統合	Yes	Yes	Yes	Yes
レポートへのドリルダウン	Yes	Yes	Yes	Yes
KPIやゲージ	Yes	Yes	Yes	Yes
地図のサポート	No	Yes	Yes	Yes
セキュリティモデルとの統合	Yes	Yes	Yes	Yes
エンドユーザーによるダッシュボード作成	Yes	Yes	No	Yes
アラート	Yes	Yes	No	Yes

OLAP / 分析				
概要	BO XIIはキューブを使った非常に簡単なユーザー相互作用を可能にした強力なOLAP インテリジェンスモジュールを備えています。 BOIは特別な変更なしにHyperion Essbase、SQLサーバ、IBM DB2 OLAP、およびSAP BWと統合できます。	Cognos8ではキューブがCognos8トランスフォーマーによって作成された後、レポートを作成にレポートスタジオを使用します。	SQLサーバレポートサービスは、ユーザーがMDXクエリーを構成して、ビジュアルデザイナーでレポートを作成するSQLサーバアナリシスサービスと統合できます。	Pentahoはオープンソース高速OLAPエンジンMondrianがそのまま使えるように統合されています。MDX規格のサポートも可能です。
OLAP可能なプラットフォーム	Yes	Yes	Yes	Yes
キューブデザイン	Yes	No	Yes	Yes
分析ツール付属	Yes	Yes	Yes	Yes
レポート環境との統合	Yes	No	Yes	Yes
セキュリティ				
概要	BO XIIはロール、グループ、ユーザー、およびパーミッションに基づく強力なセキュリティフレームワークに備えています。このフレームワークはプラットフォームのレポート、OLAP、およびダッシュボードといった面で利用されます。 また、BOIはソリューションベースのカスタムSSOに十分な柔軟性を与えるAPIを備えています。	Cognos8はロール、グループ、ユーザー、およびパーミッションベースの強力なセキュリティフレームワークを提供します。このフレームワークはレポートと管理プラットフォームで影響を持ちます。 Cognos8のカスタマイズは、使用されないレポートツール(クエリースタジオ、アナリシススタジオなど)の削除に加えフォルダレベルのセキュリティを含んでいます。	SQLサーバレポートサービスはカスタム認証、ロールベースのセキュリティ、およびモデルレベルのセキュリティを適用する機能を含めた組み込みのセキュリティフレームワークを提供します。	Pentahoはユーザー、グループ、およびロールを中央で管理することができる強力なセキュリティフレームワークを備えています。また、このセキュリティフレームワークはレポート、アナリシス、およびダッシュボードといったツールのフレームワークに統合されます。 セキュリティの観点からのもう一つの利点は、拡張フレームワークなので、どんなカスタム設計されたセキュリティモデルでも追加して作成することができることです。
グループ、ロール、パーミッション	Yes	Yes	Yes	Yes
SSOサポート	Yes		Yes	Yes
ローレベルセキュリティ	Yes	No	No	Yes
カラムレベルセキュリティ	Yes	Yes	No	Yes
その他				
統合ワークフロー	No	No	No	Yes
レポートバースト (バッチレポート)	Yes	Yes	No	Yes
Java API	Yes	Yes	No	Yes
.NET API	Yes	No	Yes	No
ドキュメント	Yes	Yes	Yes	Yes
Webサービス	Yes	Yes	Yes	Yes
拡張性	Yes	Yes	Yes	Yes
インフラ				
Apacheサポート	Yes	Yes	No	Yes
Jbossサポート	Yes	No	No	Yes
IISサポート	Yes	Yes	Yes	Yes
SQL Serverサポート	Yes	Yes	Yes	Yes
Oracleサポート	Yes	Yes	Yes	Yes
Linuxサポート	Yes	Yes	No	Yes
Windowsサポート	Yes	Yes	Yes	Yes

株式会社KSKソリューションズ

本社オフィス 〒541-0053 大阪市中央区本町1-1-3
本町橋西ビル2F

TEL:06-4705-7607 FAX:06-4705-7602

東京オフィス 〒105-0021 東京都港区東新橋2-10-10 東新橋ビル2F

TEL:03-4520-8398 FAX:03- 5638-5734

